

柔軟な働き方を実現する

リモートアクセスシステム



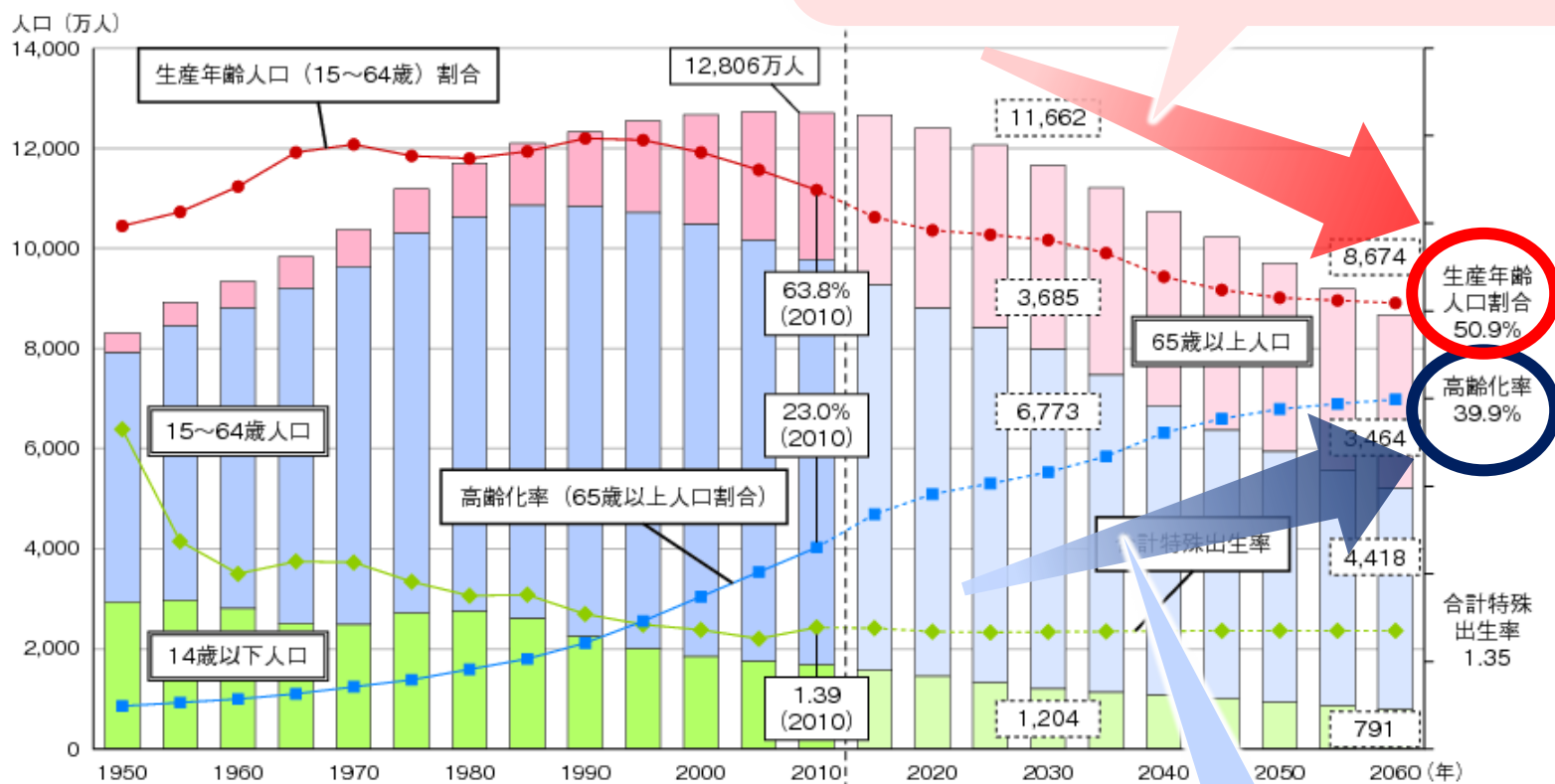
Topics

はじめに

1. テレワークとは
2. テレワーク環境の実現方法
3. DoMobileの活用例
4. DoMobile Ver.4 概要
5. まとめ

現在の日本は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に直面している
企業の継続的な成長を支えるために、**従業員一人当たりの生産性の向上**は急務である

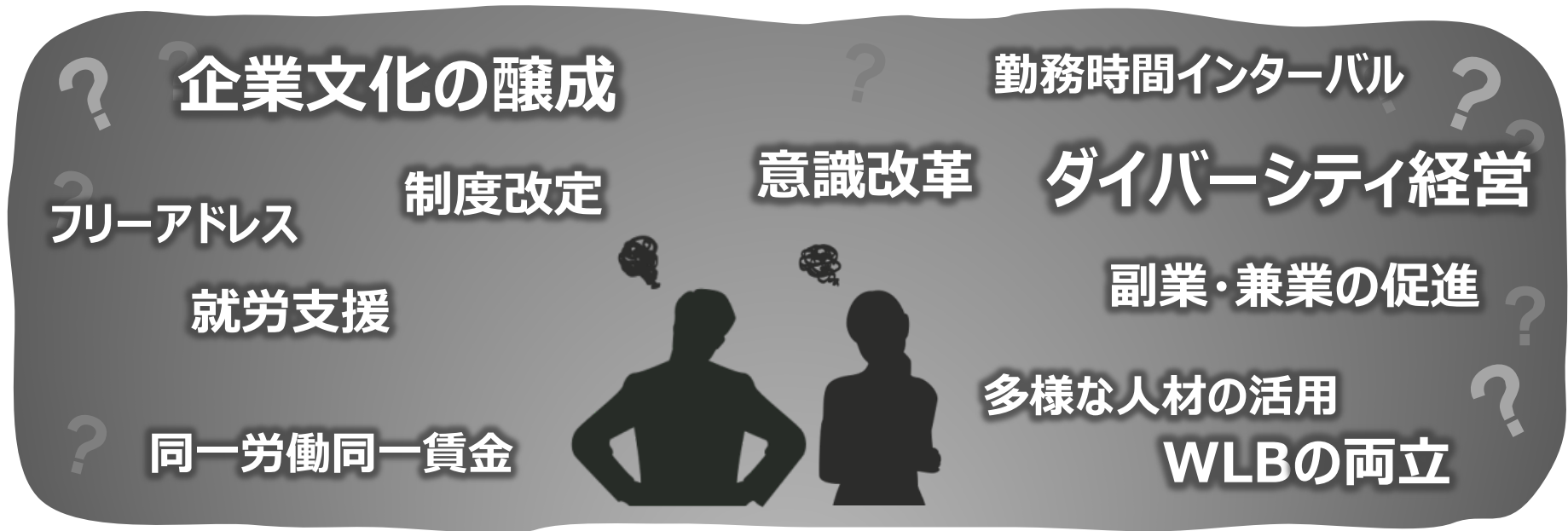
生産年齢人口は継続的な減少傾向



高齢化率は右肩上がりです

企業における生産性向上の必要性は理解している…

『働き方改革の効果を実感できるまで時間がかかる』
『具体的に何から始めればいいのか？』



即効性のある“働き方改革の第一歩”として
テレワークによる柔軟な働き方の実現をご提案します！

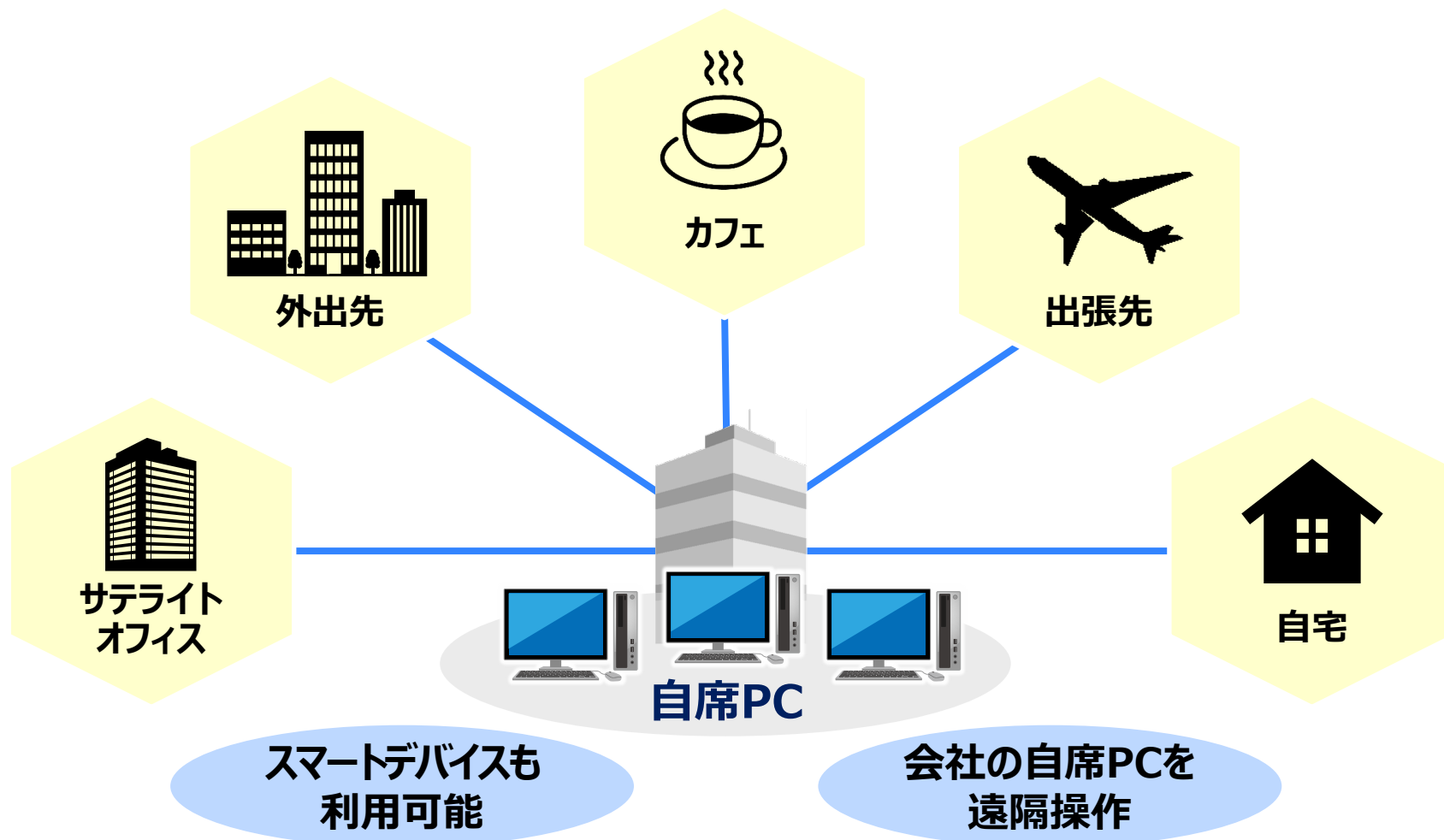
Topics

はじめに

- 1. テレワークとは**
2. テレワーク環境の実現方法
3. DoMobileの活用例
4. DoMobile Ver.4 概要
5. まとめ

ICTを利用した時間や場所にとらわれない柔軟な働き方

インターネット回線を利用し自席PCをいつでも、どこからでも自由に操作可能



テレワークを行うことで・・・

- 1 すきま時間を利用した定型的業務の実施**
- 2 育児や介護を理由とした離職の防止**
- 3 出社困難時の業務継続**

などの効果が期待できます！



テレワーク活用の効果を数値化すると・・・

テレワーク未導入企業と比較して
1社当たり1.6倍の労働生産性※を実現！

※労働生産性 = (営業利益 + 人件費 + 減価償却費) ÷ 従業員数

Topics

はじめに

1. テレワークとは

2. テレワーク環境の実現方法

3. DoMobileの活用例

4. DoMobile Ver.4 概要

5. まとめ

お客さまが抱える課題と要望



強固なセキュリティを実現したい・・・



タブレットを業務活用したい・・・



適切な労務管理を実現したい・・・



運用に負荷を掛けたくない・・・



安価に導入したい・・・

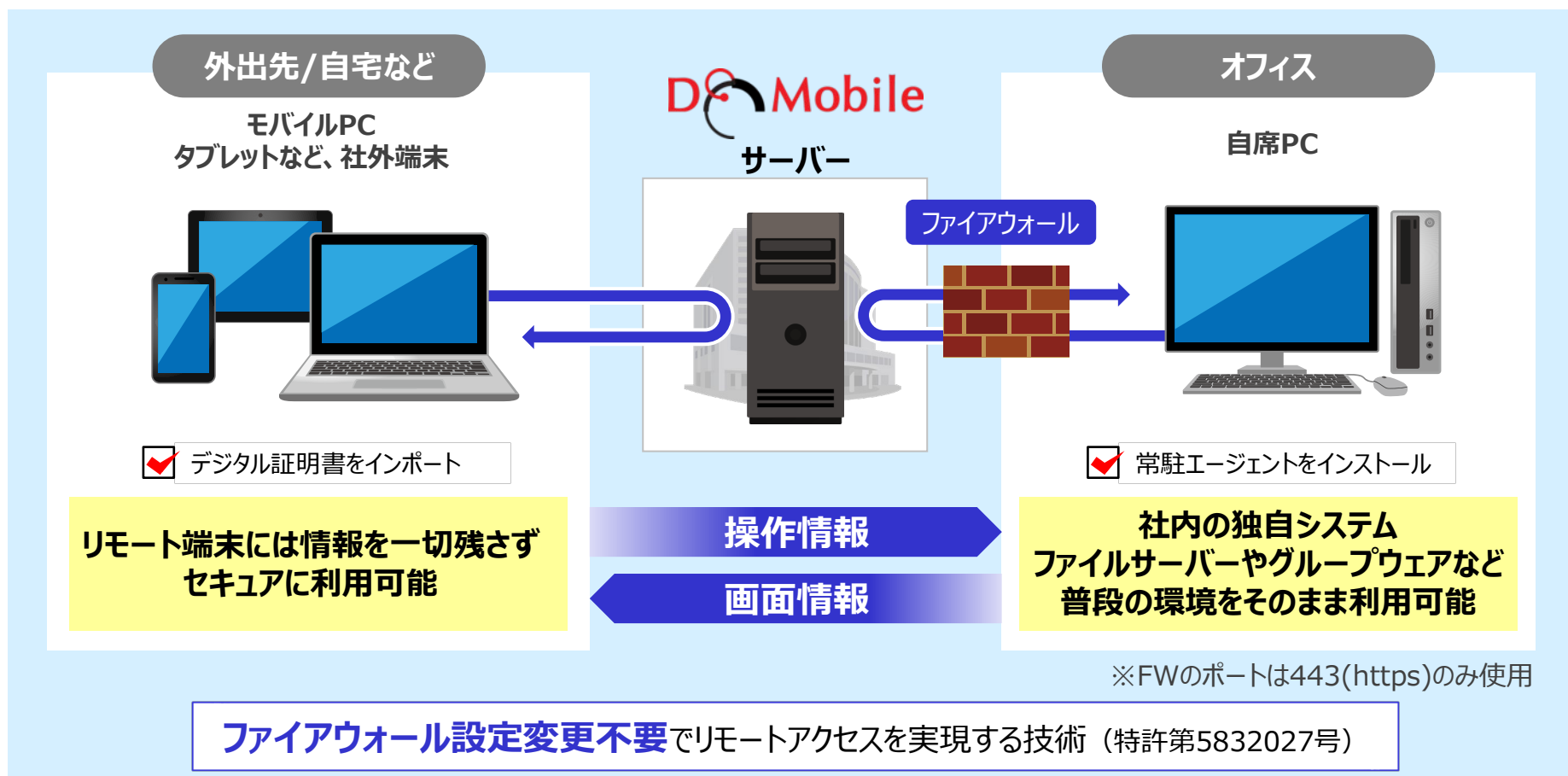
テレワーク環境の構築時には、セキュリティだけでなく
運用工数や**コスト**も重要な選定ポイントとなります。

「DoMobile」ならば短納期・低コストで 『即効性のあるセキュアなテレワーク環境』の構築が可能です！

構築方法	セキュリティ	利用デバイス	構築期間	労務管理	コスト
DoMobile ASP (自席PCを遠隔操作)	◎ データ持出し不可	○ PC／タブレット	○ 3営業日	◎ 管理者にて設定 (利用可能日時を設定可能)	○ 安価
PC持参 (HDD暗号化)	✕ ユーザーに依存	△ PCのみ	○ 数日程度	✕ ユーザーに依存	○ 安価
アプライアンス製品を導入 (例：VPN装置)	△ 通信プロトコルに依存	○ PC／タブレット (VPN装置に依存)	△ 1か月以上	○ 管理者にて設定 (選定機器により管理不可)	✕ 高価
自席PCを仮想化 (VDI)	△ 通信プロトコルに依存	○ PC／タブレット	△ 1か月以上	✕ ユーザーに依存	✕ 高価

「DoMobile」は画面転送方式でリモートアクセスを行います

リモート端末の操作情報と自席PCの画面情報を論理的に紐付けることで
既存のネットワーク環境を変更せず自席PCをセキュアに操作可能です。



快適なテレワーク環境を実現するための機能を実装し ユーザー部門・管理部門が抱える課題解決を支援します！

ユーザー 部門



在宅勤務者

セキュアに利用

- 特別なITスキルは不要



テレワーカー

マルチデバイス対応

- iOS/Android/Windowsをサポート

管理部門



労務管理者

適切な労務管理

- アカウント毎に設定可能



システム管理者

簡単設定

- ユーザー自身でインストール可能



経営層

安価に導入

- ASPサービスで安価に利用可能

テレワークの利便性は理解している。



しかし、
ユーザー部門が利用する場合に運用上の課題があるのでは…？
とお考えの管理者さまへ



課題①



セキュリティ

課題②



デバイス

課題③



労務管理

課題④



設定作業

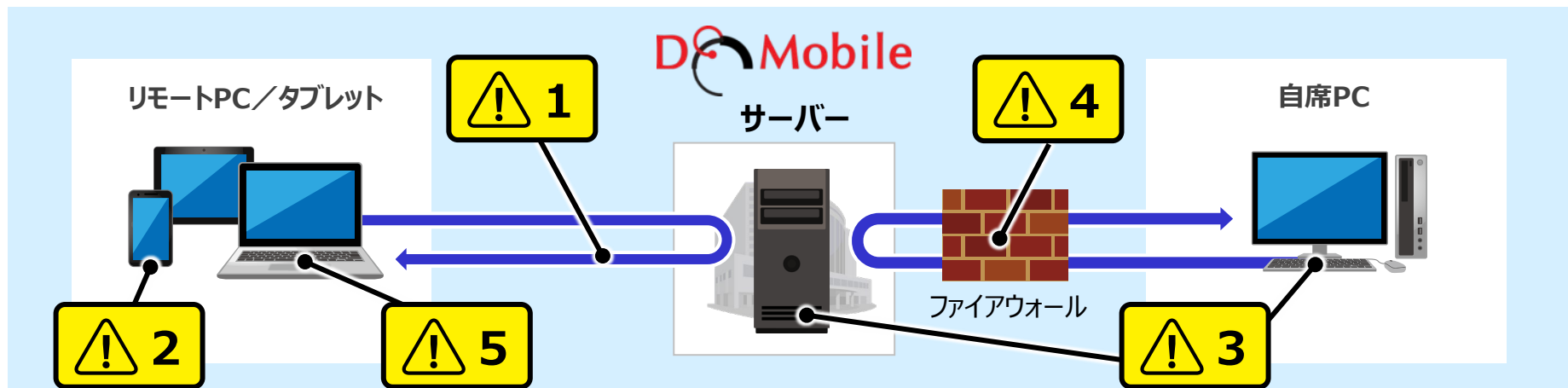
課題⑤



コスト

「DoMobile」はインストールから利用状況の確認まで
管理者さまが安心して快適に運用いただける機能を実装しております。

「DoMobile」はどのようにセキュアなリモートアクセス環境を実現している？



リスク例	「DoMobile」による対策
⚠ 1. 第三者による通信の盗聴	自席PCとリモート端末間をend to endで暗号化された通信で接続。リモートアクセス中の盗聴対策を実現しています。
⚠ 2. なりすまし	認証には、パスワード+デジタル証明書を利用。管理者が定めたリモート端末のみ、自席PCへの接続を許可します。
⚠ 3. 中継サーバーへの攻撃	ASPサーバー、自席PCで分散して認証情報を保持。もしも、サーバー／自席PCから認証情報が漏えいしても、第三者から自席PCへのリモート接続を防ぎます。
⚠ 4. F/Wのポート開放	特許技術により、セキュアな既存環境を変更することなくリモートアクセスを実現します。
⚠ 5. リモート端末へのデータ持ち出し	ワンタイムのリモートコントロールビューアを利用し、自席PCの画面情報をリモート端末へ転送することで、実データの持ち出しを制御します。

お客さまが懸念されるセキュリティリスクについて、 「DoMobile」を利用することで解決可能です！

Q リモート端末がウイルスに感染していた場合、自席PCに感染するのでは？

A 画面情報のみを転送することで、ウイルス伝播リスクを排除します。

Q 画面キャプチャを取得されることでリモート端末に情報が残るのでは？

A 独自のリモートコントロールビューの機能により、画面キャプチャの取得※を抑止します。
※リモート端末がPCの場合のみ。

Q リモート端末を紛失した場合に第三者からの利用されてしまうのでは？

A 管理者から、特定のアカウントを停止可能です。ユーザ毎に利用日時を制限し時間外労働を抑止します。

「DoMobile」が実現するセキュアなリモートアクセス環境により一般企業よりも、
より高度なセキュリティレベルが求められる公共機関・医療機関・金融業への
導入実績があります。

Q

リモートアクセスを行うためには自席PCを24時間立ち上げおかないといけないのでは？

A

Wake On LAN(WOL)機能を利用し、社外から遠隔で自席PCの電源起動が可能のため、常時自席PCを起動しておく必要はありません。
使用電力の節約や柔軟な働き方の実現に貢献します。

外出先/自宅など



電源起動指示

オフィス

電源OFF



電源ON !



リモートパワーオンを実現する技術
(特許第4875094号)

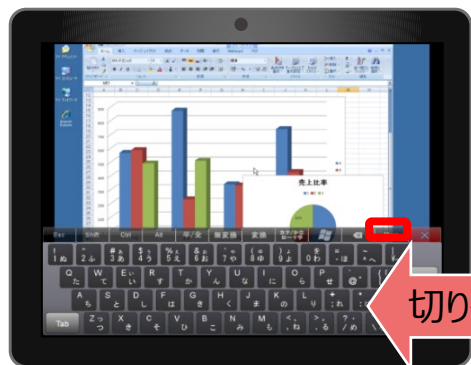
※ WOLをご利用頂く際には、当社HPに掲載されている最新の前提条件を満たしている必要があります。

Q

タブレットを利用したいが、
Windows環境の業務には適用できないのでは？

A

タブレット利用時には、Windows配列のオリジナルキーボードを表示。
iPadでは通常サポートしていない「ファンクションキー」も利用可能。



切り替え

タブレット利用時の独自機能

Windows配列 + ファンクションキー



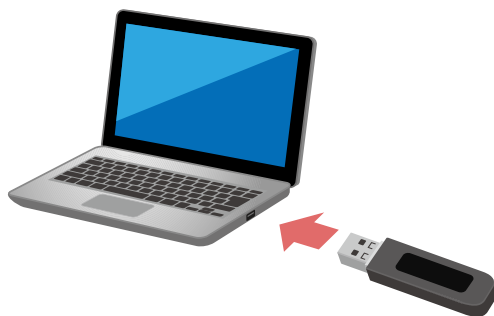
社内の専用業務システムを利用するための半角入力やファンクションキーが必要な操作も、快適にご利用いただけます。

Q

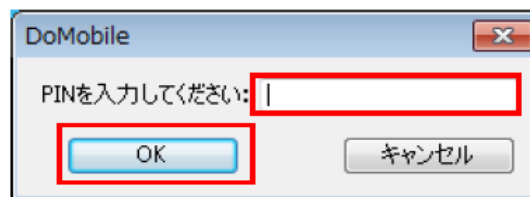
リモート端末の紛失対策をより強固に実現したい。
何かいい方法はないか？

A

シンククライアントPC※をリモート端末として利用可能です。
専用USBトークンと連携することで、物理キーとの二要素認証を実現
複雑なパスワードの暗記が不要、といったメリットがあります。



① シンククライアントPCへ
USBトークンを挿入



② PINコードを1度入力し、
OKを押下



③ 自動的に認証を行い
リモートアクセス開始！

※必要最小限のソフトウェアだけを搭載した端末です。

PC内蔵ストレージを書き込み禁止状態にしているため、管理者に負荷を掛けずにセキュアな運用を可能とします。

Q

テレワークを行うと、適切な労務管理を現することが難しいのでは？

A

適切な労務管理を実現するために、ユーザーごとに利用日時の制限や特定のアカウントのアクセス制限が可能です。
利用統計を一括取得し、テレワークの効果測定にも活用いただけます。

管理者



アカウント管理システム

アクセス管理画面

アカウント情報更新 アカウント情報を入力して「更新」を押してください。 アクティビティコード: 00000001 ユーザID: 00000001 ステータス: 未接続 コンピュータ名: windows7 オプション機能: ファイル管理 / リモートプリンティング / Outlook / PCカメラ アクセス制限: ☒ アクセス許可 アクセス制限: * 毎日 * 曜日指定 (月 火 水 木 金 土 日) アクセス制限: * 24時間 * 時間指定 (00:00:00 ~ 23:59:59) [まで] 最終ログイン日時: 2012-11-22 17:53:34 証明書有効期限: 2012-11-22 17:53:34	アクセス制限 最終ログイン日時 証明書有効期限
--	--

・利用可能な曜日、時間帯設定 ・アクセス可否設定

アクセス履歴確認

・1年間の利用履歴

・指定ユーザー検索

・利用履歴の出力

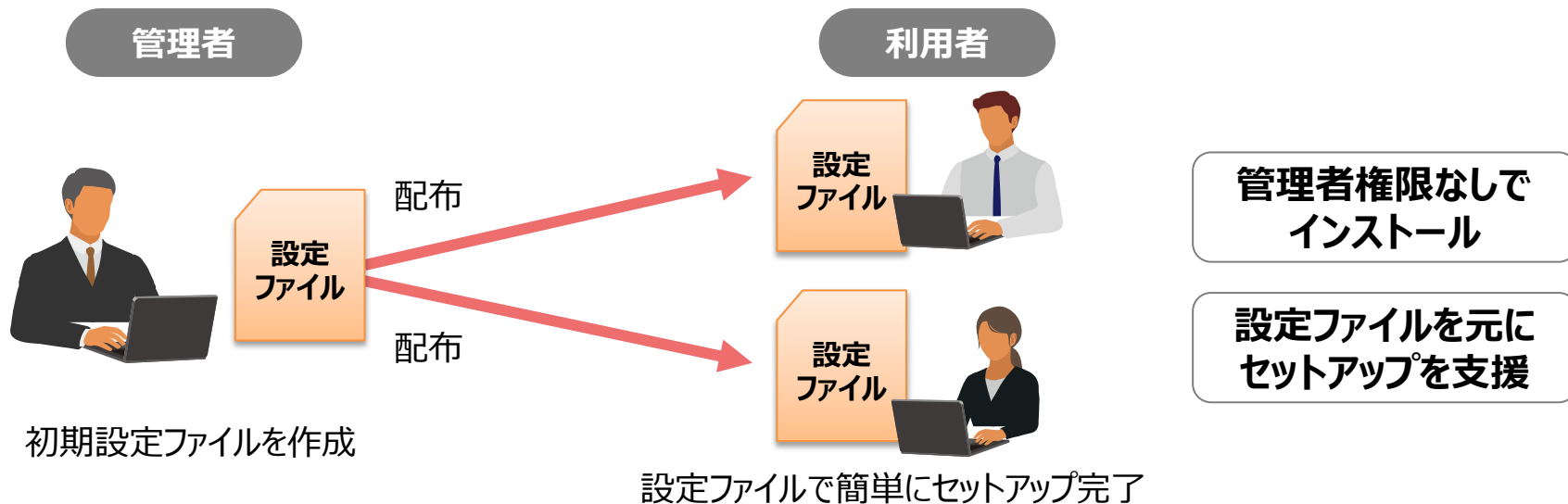
CSV出力

Q

初期設定について、ユーザー部門で対応してほしいがWindowsの管理者権限は開示したくない。何かいい方法はないか？

A

インストール支援ツール※により、Windowsパソコンの管理者権限を開示することなく初期セットアップやアップデートを実現します。



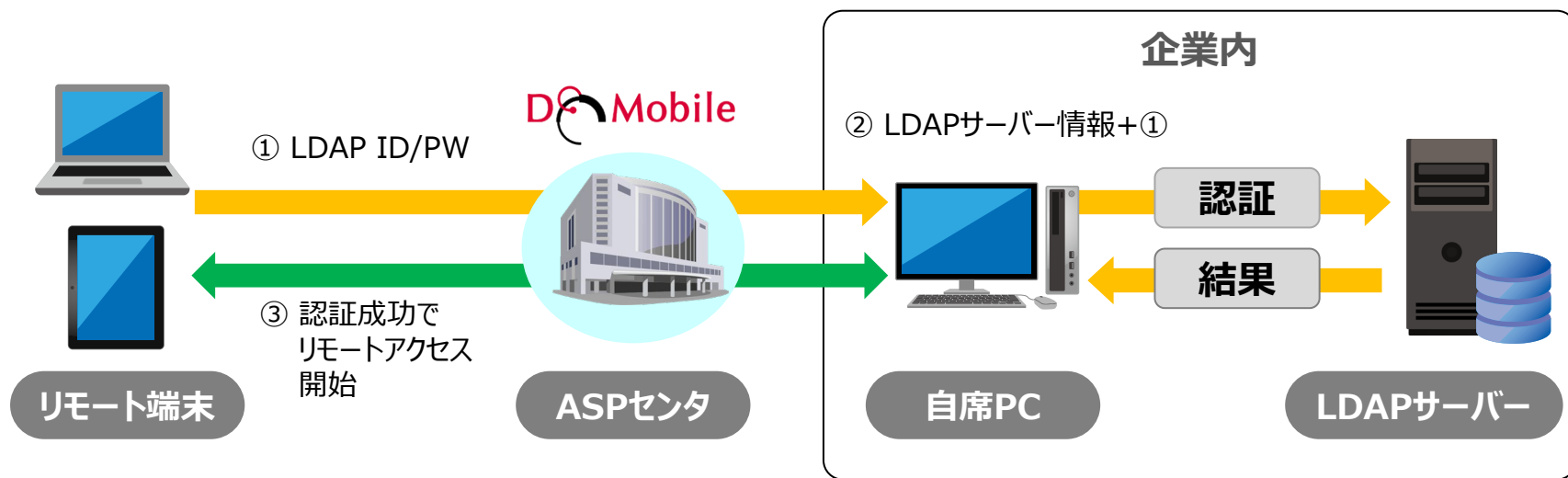
※導入企業の管理者が企業のネットワーク情報などを事前に設定することで、セットアップ時の利用者の操作を大幅に削減し、ユーザー/管理者の負荷を軽減します。

Q

リモートアクセスの認証情報について、パスワードの更新時期など現在の運用ポリシーと合わせたいが対応可能か？

A

リモートアクセス認証時のLDAP認証をサポートし
企業内の認証情報およびセキュリティポリシーに柔軟に対応可能です。



※一般的にはRADIUS⇔LDAPと連携し認証を行います、「DoMobile」は自席PCを介して連携します。

※「DoMobile」サーバーと企業のLDAPサーバー間の通信路の確保は不要です。

Q

テレワーク導入には、新たなハードウェアの導入や大規模なシステム構築作業、安定した運用を行うためにサポートを行う人員が必要なのは？

A

「DoMobile ASPサービス」ならば、最小限のIT投資で運用を含めたテレワーク環境を構築可能です。

初期費用（利用デバイス導入）

「DoMobile」であれば、
既存のIT資産を自席PC／リモート端末としてそのまま流用可能！

運用コスト（サーバー管理）

ASPサービスを利用すれば、
サーバー管理の運用コストは利用料に含まれるため、考慮不要！

Topics

はじめに

1. テレワークとは

2. テレワーク環境の実現方法

3. DoMobileの活用例

4. DoMobile Ver.4 概要

5. まとめ



営業担当者

外出時のすきま時間を有効活用

- 社内でしか利用できないシステムを利用
- 移動時間を削減し、効率的な働き方を実現



時短勤務者
在宅勤務者

育児期間・介護期間の支援ツール利用

- ライフイベントに起因した離職防止
- ES（従業員満足度）の向上



システム部門

リモートサポートツール利用

- システムトラブル発生時に即時対応
- 夜間作業や遠隔地対応の作業負荷軽減



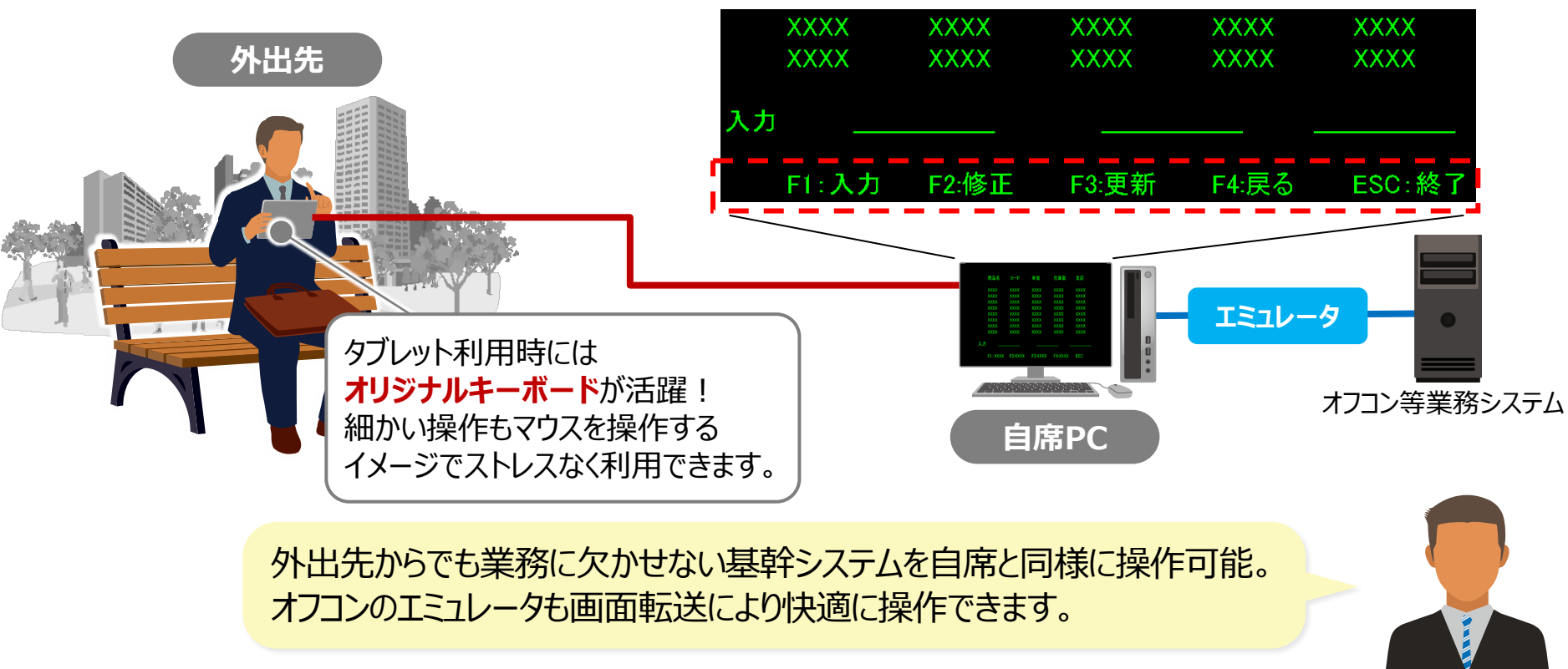
経営層

BCP対策ツール利用

- 天候不良発生時に出勤せず業務を継続
- 出勤困難時の事業継続

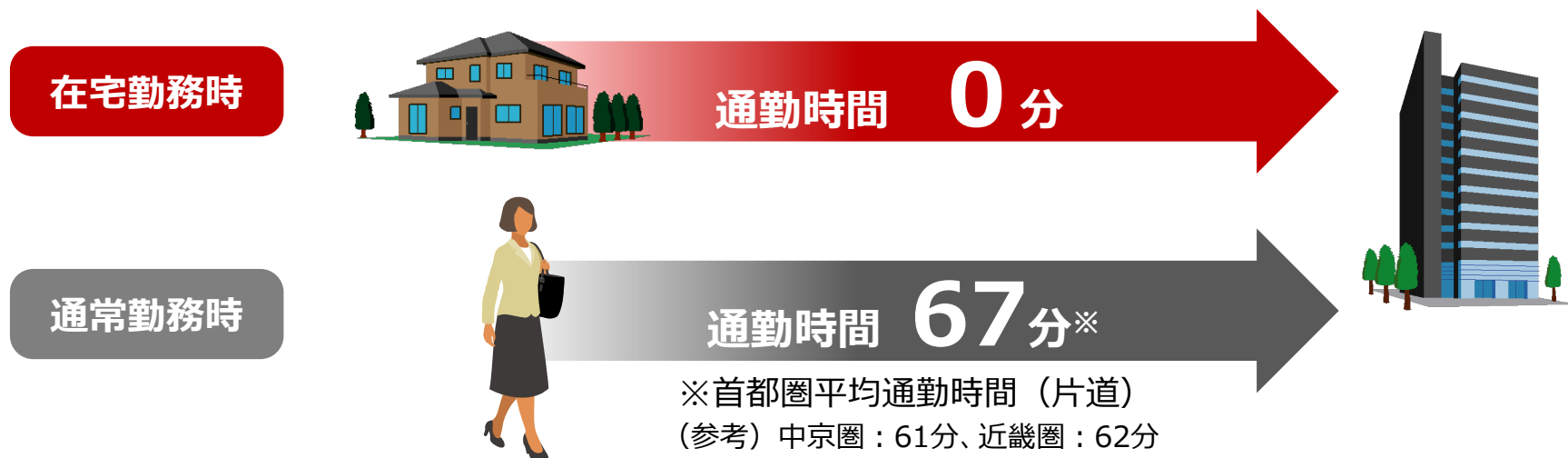
導入効果

- ◎ 社内独自システムを社外で利用可能。リアルタイムの在庫検索やワークフローの申請、承認など、オフィスの外で活躍する営業員の業務効率を支援。
- ◎ 事務所に戻らずに業務を完結。直行直帰型の営業スタイルを実現し、長時間残業を抑止。



導入効果

- ◎ 出退勤に要していた時間を活用し、稼働時間を確保可能。
平均通勤時間 往復**2時間** × **20営業日** = **40時間**/月
- ◎ 育児や介護を原因とした優秀な人材の退職を柔軟な働き方を実現することで解消。



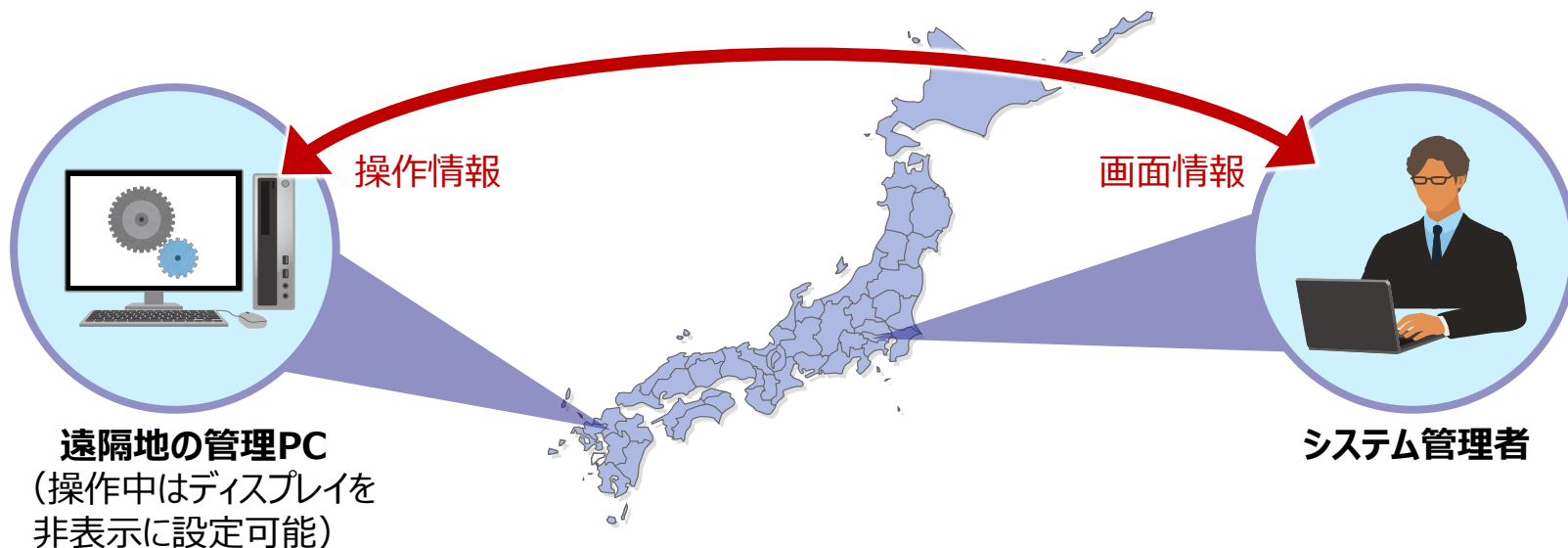
出典：国土交通省 第12回 大都市交通センサス調査結果

これまで通勤に消費していた時間を家族のために使うことができます。
移動時間が不要なため、限られた勤務時間を効率的に利用可能です。



導入効果

- ◎ 夜間や遠隔地で発生したシステムトラブルに即時対応可能。
- ◎ ユーザー部門が業務中に対応できない夜間バッチ処理も社外から対応可能。



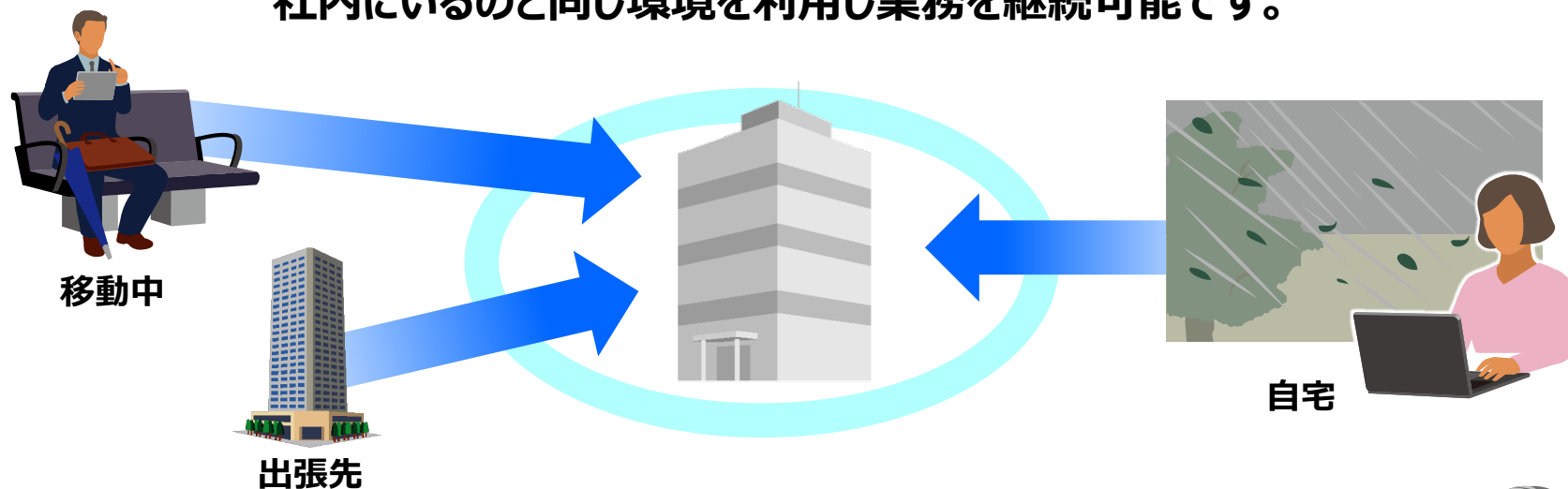
営業時間外に発生したシステムトラブルを現地に向かわず対応可能です。
自社の別拠点に設置されたサーバールームや、
データセンタに設置された管理端末も快適に操作可能です。



導入効果

- ◎ 天候不良時、交通遅延発生時に従業員の安全を確保しつつ、業務継続が可能。
- ◎ 経営層自らが働き方を変革することで働き方に関する企業文化を醸成します。

自宅以外にもインターネット接続可能な環境であれば、移動時間中も社内にいるのと同じ環境を利用し業務を継続可能です。



悪天候や交通遅延発生時には社員に在宅勤務の実施を推奨。
安全を確保した上で、テレワークを活用し、業務の継続可能な体制を構築可能です。



Topics

はじめに

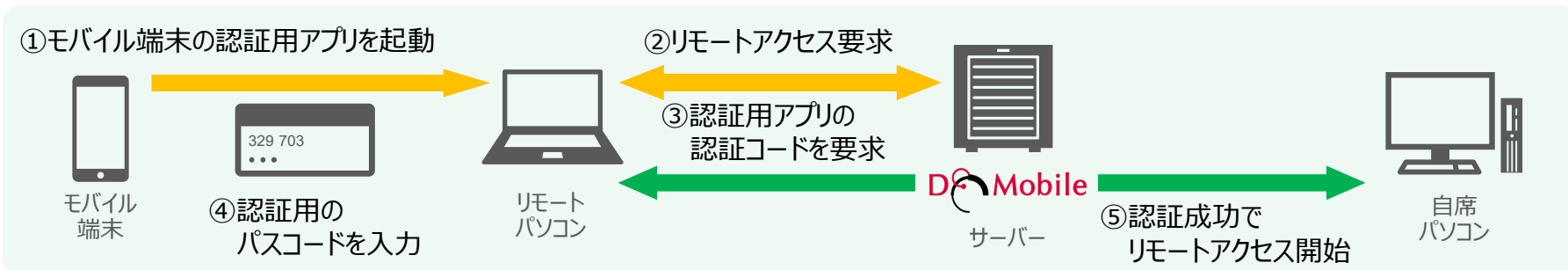
1. テレワークとは
2. テレワーク環境の実現方法
3. DoMobileの活用例
- 4. DoMobile Ver.4 概要**
5. まとめ

新たに公開されるDoMobile Ver.4で、よりセキュア、より容易に…

これまでお客さまから要望いただいていた二段階認証への対応や、導入時の負担を軽減するインストール形式ビューアなど、よりセキュア、より容易にテレワーク環境での作業が可能になります。

二段階認証対応

リモート端末からの接続時の認証機能を拡充。企業環境での既存のセキュリティポリシーに準拠するため、従来のクライアント証明書認証に加え、以前からお客さまからの要望も多いワンタイムパスワード方式による二段階認証機能に対応。



リモートマイク対応

自席パソコンにインストールされているMicrosoft TeamsやZoomなどのリモート会議システムに対するリモートマイクの機能を追加。

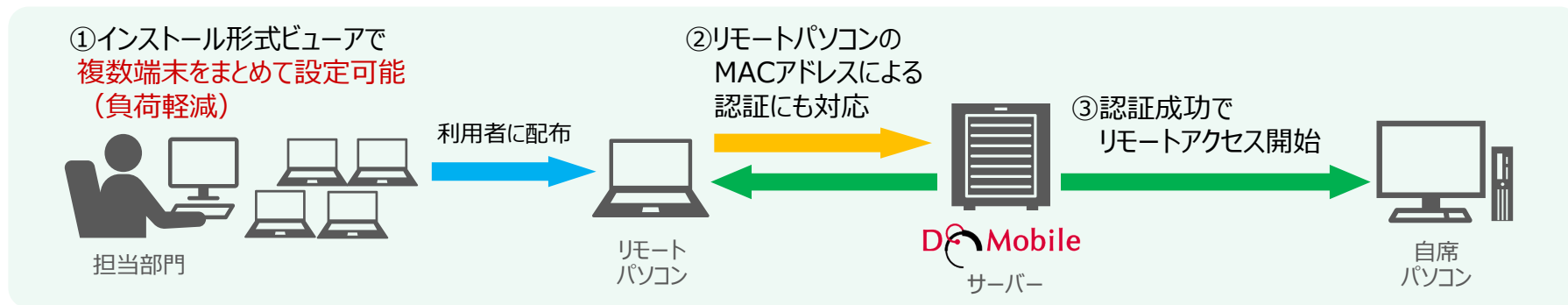


※DoMobileユーザー側のカメラ映像（リモートパソコン上）は、リモート会議のお打ち合わせ先パソコンには表示されません。

インストール形式ビューアとMACアドレス認証対応

企業がリモートパソコンを配布するケースにおいて、パソコンの設定に対して工数をかけたくない、との要望に対応するため、事前設定が可能なインストール形式の専用ビューアを用意。

また、本ビューアは、企業が配布したパソコン以外からのアクセスを抑止したい、といった要望にも応えるため、接続元パソコンのMACアドレスが、あらかじめ登録されている場合のみアクセスを許可するMACアドレス認証に新たに対応。



Topics

はじめに

1. テレワークとは
2. テレワーク環境の実現方法
3. DoMobileの活用例
4. DoMobile Ver.4 概要
- 5. まとめ**



月額**1,800円**※ / **1ユーザー** からのIT投資で
大幅なコスト削減とワークスタイルの**変革**を実現

業務の効率化

外出時の空き時間を有効活用して
毎日の残業を**1時間削減**できたら…



年間 **432,000円 削減**

時給換算 削減時間
1,800円 × **20時間** / 月 × **12か月**

機会損失の防止

いつでも会社と同じ環境で業務を継続。ビジネスチャンスを逃しません！

■ 初期登録時に〔企業登録料：12,000円／企業※（税抜）〕〔ユーザー登録料：1,200円／ユーザー※（税抜）〕が別途必要となります。
本料金にはサポートサービスも含んでいます。

※本表示価格は、消費税抜きの価格となっております。別途消費税を申し受けます。

リモートパワーオン機能を利用する場合

- 起動用端末としてDoMobile ASPサービスをご利用いただいているServer／PCが別途必要です。
- Wake On LANによるリモートパワーオン機能を利用する場合には、
自席PCが Wake On LANに対応している必要があります。

■ 自席PC、起動用Server／PC

OS	【32bitOS】 Microsoft Windows 8.1 Pro / 8.1 Enterprise Microsoft Windows 10 Pro 【64bitOS】 Microsoft Windows 8.1 Pro / 8.1 Enterprise Microsoft Windows 10 Pro / 10 Enterprise Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows Server 2016 Standard Microsoft Windows Server 2019
CPU	Intel Pentium 4 1.3GHz 相当以上
HDD	OSがインストールされているドライブに100MB以上の空き容量 自席パソコン（DoMobile PC）用DoMobileプログラムをインストールするドライブに30MB以上の空き容量が必要です。
接続回線	DoMobileサーバに接続可能なネットワーク環境

■ DoMobile for Manager

OS	【32bitOS】 Microsoft Windows 8.1 Pro / 8.1 Enterprise Microsoft Windows 10 Pro 【64bitOS】 Microsoft Windows 8.1 Pro / 8.1 Enterprise Microsoft Windows 10 Pro / 10 Enterprise Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows Server 2016 Standard Microsoft Windows Server 2019
ブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox Internet Explorer 11（※2022/6/16にサポート終了となります。）

※動作環境の最新情報につきましては、当社ホームページをご覧ください。

https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/require/index.html

【リモート端末】

パソコン ※お使いのOSにより サポートブラウザが 異なります	サポートOS：自席パソコン（DoMobile PC）の動作環境に準じます。 ※Microsoft Windows 10 Homeも含まれます。 【ブラウザ】 Windows Internet Explorer 11 Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox
タブレット	サポートOS：iPadOS 14.0以降 ※動作確認機種：iPad Air / iPad Air 2 / iPad Pro
	サポートOS：Android™ 7.0 ※動作確認機種：Huawei MediaPad M3
	サポートOS：Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro / Windows 10 Pro ※動作確認機種：Surface Pro 7
スマートフォン	サポートOS：iOS 13.0以降 / iOS 14.0以降 ※動作確認機種：iPhone 8
	サポートOS：Android™ 11 ※動作確認機種：Google Pixel 4a

※動作環境の最新情報につきましては、当社ホームページをご覧ください。

https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/require/index.html

Q

自社の業務改善に適用出来るかも・・・検証用の環境はある？

A

無償で20日間の試用を受け付けています。
「手軽に使えるリモートアクセス」を是非お試しください！

DoMobile

検 索

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

Webでのお問い合わせ

www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html

お問い合わせページより、商品・サービスをお選びください。

メールでのお問い合わせ

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

■他社商品名、商標などの引用に関する表示

- ・「DoMobile」は、株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト、カナダ 01 Communique Laboratory Inc.の登録商標です。
- ・Apple、iPad、iPad mini、iPad Air、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ・Intel、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標です。
- ・Microsoft、Internet Explore、Windows、Windows Server、Microsoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■サービス・製品の仕様に対する表示

本資料に記載しているサービス・製品の仕様は、2025年4月現在のものです。

サービス・製品の改良などにより予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

■お問い合わせ情報について

お問い合わせ情報についてご相談・ご依頼いただいた内容は回答などのため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）

および株式会社日立製作所に提供（共同利用も含む）することがあります。

取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。